

情報通信部会長報告

1. 会議名 第1回部会総会（オープン部会）
2. 日 時 2025年9月24日（水）15:00～16:30
3. 場 所 秋田商工会議所7階 ホール80
4. 出席者 部会員等43名（当部会員18名）
5. 懇 談
テーマ 「AIで実現する業務改善と次世代の組織」
ゲスト (株)エイチ・エール 安藤 昌明 氏
(中小企業診断士、ITコーディネーター、1級販売士)
6. 協 議 2号議員選任のための選考委員選任について

■生成AIの概要と注意点

- ・インターネット上に存在する膨大な情報を学習し、利用者からの質問に回答を生成
- ・**入力された情報は新たな学習データとして利用される可能性・リスクがある**
- ・AIはあくまでインターネット上の情報をまとめているに過ぎず、**効率的に情報を得られる一方で、回答が常に正しいとは限らない**



安藤 昌明 氏

■主な生成AIツールの特徴

生成AIツール	特徴
ChatGPT (OpenAI)	会話や要約、データ分析など、幅広い用途に使える万能型
Gemini (Google)	GmailやGoogle検索といったGoogleのサービスと強力に連携
Copilot (Microsoft)	WordやExcel、PowerPointなどMicrosoft365製品との連動が強み

■生成AIの効果的な使い方

1. 文章作成支援

- メールの文面、謝罪文、ブログ記事、企画書・事業計画書の構成案など

2. アイデア出し

- 新商品やサービスのアイデア、チラシのキャッチコピー、Instagramのハッシュタグ提案など

3. 情報収集・分析

- 市場動向の調査、ターゲット層の分析、長文要約など

4. その他

- 翻訳、簡単なプログラミング、契約書のひな形作成など

■生成AIにできないこと・苦手なこと

- 「1年後の株価」などの未来予測や、インターネット上に情報が少ないニッチな質問への回答は難しい
- 回答にはハルシネーション（もっともらしい嘘）が含まれている可能性があり、人による事実確認が必要

■ 的確な回答を得るためにのポイント

1. 立場を明確化する

- 質問者の立場（業種や役職等）を最初に伝える

2. 具体的な質問をする

- 人への相談と同様に、背景や状況をできるだけ具体的に説明する

3. 対話を重ねる

- 一度の回答で終わらせらず、追加で質問を繰り返すこと（壁打ち）で、回答の精度を高めていく

4. 条件を細かく指定する

- 「10個提案して」「表形式でまとめて」など、アウトプットの形式や条件を指定することで、より活用しやすいデータとなる

■ まとめ

- ビジネスの方向性に悩んだ時、社内だけでは出ないような新しい視点のアイデアを得られる可能性がある
- 回答の正確性に注意が必要だが、事実確認を怠らなければ、様々な業務を効率化できる強力なツールとなる
- 売上拡大・収益力向上に向け、生成AIを積極的に活用するべき

■ 協議 2号議員選任のための選考委員選任について

議員改選に伴う2号議員選任のための選考委員7名を選任し、選考委員会を開催した結果、次の3社を当部会からの2号議員に内定した。

- ・ (株) アートシステム
- ・ 秋田活版印刷 (株)
- ・ (株) 秋田放送